



# 2022年6月期 通期決算説明資料

2022年8月12日

便利で安全なネットワーク社会を創造する

**BroadBand Security, Inc.**

株式会社ブロードバンドセキュリティ

<https://www.bbsec.co.jp/>

## アジェンダ

2022年6月期 通期業績サマリー

トピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

## 2022年6月期 通期業績サマリー

トピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

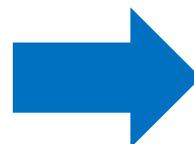
## サイバー空間を巡る情勢が大きく変化

2022/6/17公表  
内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）  
「サイバーセキュリティ2022の概要」より

新型コロナ感染症による  
「ニューノーマル」の拡大

デジタルトランスフォーメーション  
(DX) の進展

国際情勢の変化による  
サイバーリスクの増大

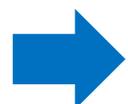


国内でも多様なインシデントが発生

- ・ランサムウェアによる被害拡大
- ・Emotetによる被害拡大

## 一方、サイバーセキュリティの経営層の認識率はまだ発展途上

- ・「経営会議等で審議される」割合は、2014年以降、3割台で推移
- ・「トップダウン指示が対策実施のきっかけ」米国55% 日本22%
- ・「金銭支払いに関わる判断を迫るランサムウェア」警察への被害報告は146件（2021年）、下期は前年比4倍に増加



**セキュリティ専門事業者である当社の社会的意義はますます高まっている**

## 過去最高の売上高となり、売上総利益が増加 販管費増を吸収し営業利益、経常利益、当期純利益も過去最高

単位：百万円

科目	2021年6月期 通期実績	2022年6月期 通期実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	4,342	<b>5,216</b>	+874	+20.1%
セキュリティ監査・コンサル	716	<b>1,176</b>	+459	+64.0%
脆弱性診断	1,385	<b>1,536</b>	+151	+11.0%
情報漏えいIT対策	2,240	<b>2,503</b>	+263	+11.8%
売上原価	3,124	<b>3,635</b>	+510	+16.4%
売上総利益	1,217	<b>1,581</b>	+363	+29.8%
販売費及び一般管理費	1,007	<b>1,072</b>	+65	+6.5%
営業利益	210	<b>509</b>	+298	+141.6%
売上高営業利益率	4.9%	<b>9.8%</b>	+4.9p	
経常利益	197	<b>497</b>	+299	+151.9%
売上高経常利益率	4.5%	<b>9.5%</b>	+5.0p	
当期純利益	121	<b>352</b>	+230	+190.3%

過去  
最高過去  
最高過去  
最高過去  
最高

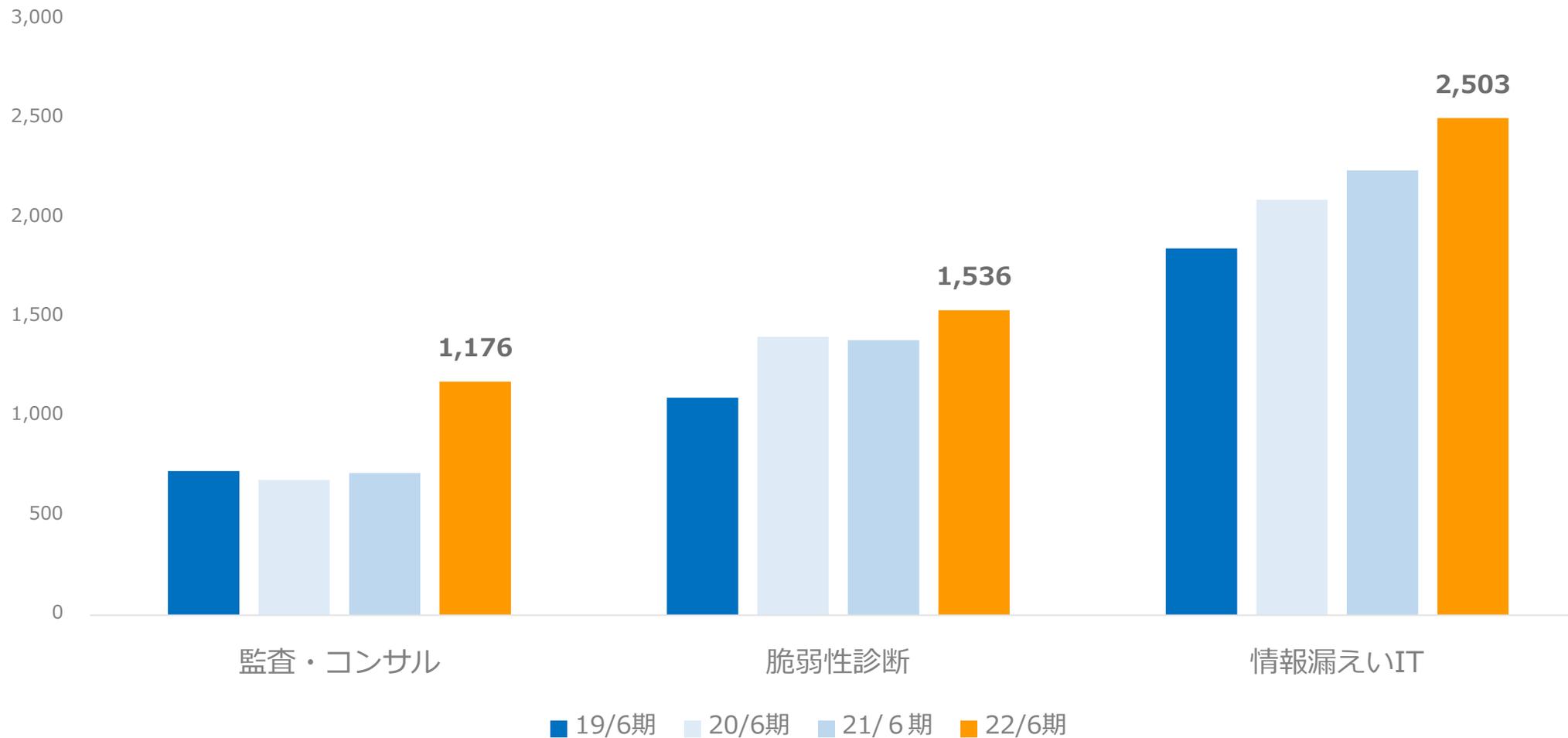
## 各サービス区分とも過去最高の売上高を更新

単位：百万円

サービス区分	2021年6月期 通期売上高	2022年6月期 通期売上高	前年同期比		変動要因
			増減額	増減率	
セキュリティ監査・コンサル	716	<b>1,176</b>	+459	+64.0%	金融業界向け監査の好調に加えて、今期より承継されたゴメスコンサルティングも寄与
脆弱性診断	1,385	<b>1,536</b>	+151	+11.0%	顧客数、案件数とも好調に推移。 過去最高売上高を更新
情報漏えいIT対策	2,240	<b>2,503</b>	+263	+11.8%	セキュリティ事故緊急対応の増加、EDRなど 24時間監視の継続サービスの積上（定常 収益の増大）で過去最高売上高を更新

## 各サービス区分とも過去最高の売上高を更新

単位：百万円



# セキュリティ事故対応に係るPCI DSSの準拠支援と セキュリティ・アドバイザリなどが堅調に推移し、前年比で大幅な売上増

セキュリティ監査・コンサルティング 単位：百万円



## コンサルティング関連ウェビナー実施状況

開催件数

**42**回/年

申込総数

**747**件

- **情報セキュリティコンサルティング**

継続しているセキュリティ事故に伴う、事故後の再発防止策を含むコンサルティングサービスが続伸。特に政府の「重要インフラを対象としたサイバーセキュリティ行動計画」の更新により、「賠償を伴う経営責任としての取り組みの明確化」は大きな後押しになっている。

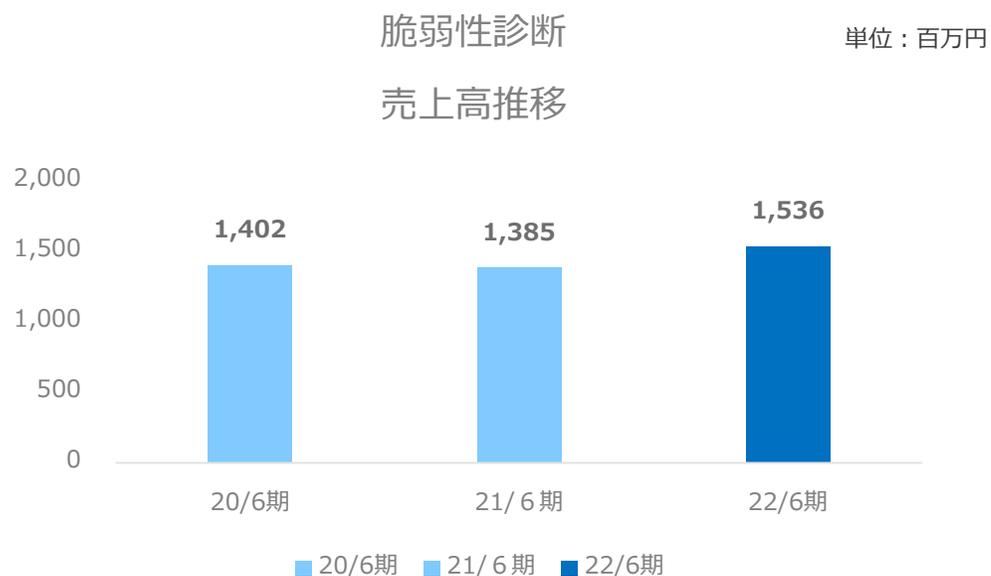
- **金融関連セキュリティ標準準拠支援**

最新版「PCI DSS v4.0」の展開が本格的に開始。また、SWIFT評価サービスも地方銀行を中心に堅調に伸びている。

- **積極的な情報発信**

コンサルタントと直接対話のできる「ウェビナー」の開催を推進。なかでも「改正個人情報保護法」や「インシデント初動対応」といったキーワードは関心が高く、出版社との協賛開催等も推進し、情報発信の機会が増加。

## 多彩なサービスラインナップ展開で顧客ニーズに応え、過去最高の売上高を更新



### Web・ネットワーク脆弱性診断

体制の大幅な拡充により、案件の受け入れ態勢が整備された。顧客からの大規模案件や、緊急対応の要望に対して、適時のサービス提供が行えたことが全体の売上に寄与した。

### クラウド設定診断

クラウドシフトの加速とともにニーズが上昇（前年比 154%）。AWS・GCP・Azureの3大パブリッククラウドのほか、Oracle や Fujitsu などに向けた体制を構築しサービス展開。

### ランサムウェア対策総点検

いまだ猛威を振るうランサムウェアによる被害範囲の可視化を目的とした疑似マルウェアを用いた診断・ペネトレーションテストが好評（前年比 2.5倍）



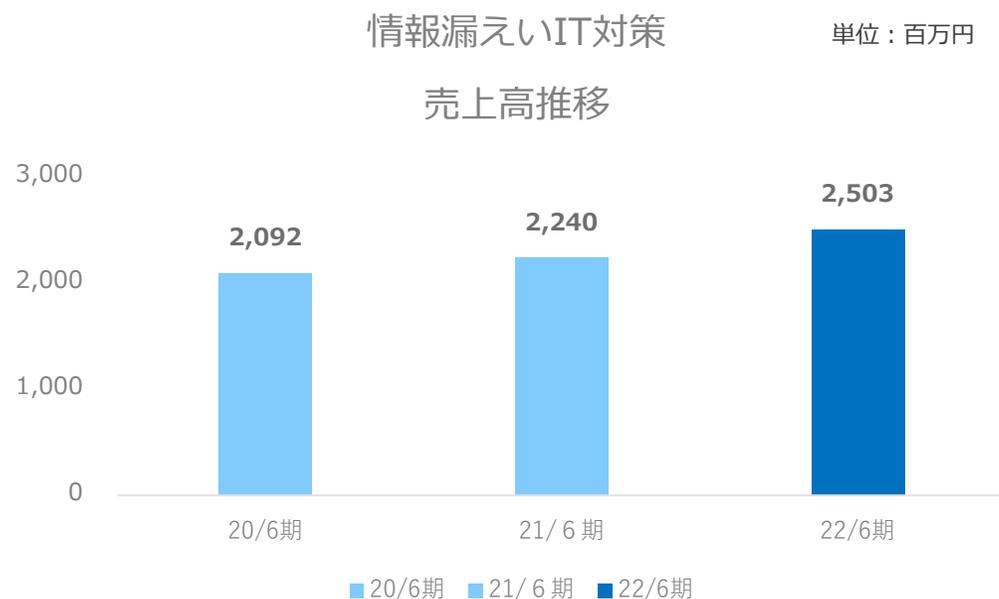
### SQAT® Security Report 2022年 春夏号

-堅牢なセキュリティを考える  
-サイバーセキュリティ最前線～OTがITでITがOTで～

# セキュリティ運用のプロフェッショナルが24時間・365日体制で支援

## EDR※の遠隔運用サービスが引き続き好調

※EDRとはEndpoint Detection And Responseの略で、エンドポイント（端末）の挙動等を監視し、異常の発生を検知・対応する新たなセキュリティソリューション



### マネージドセキュリティサービス

クラウドサービス型のエンドポイントセキュリティ製品（EDR）やウェブアプリケーションファイアウォールの製品販売および監視運用支援が好調。  
これに伴い、セキュリティ運用サービスの売上高は過去最高を更新。

### ランサムウェア対策

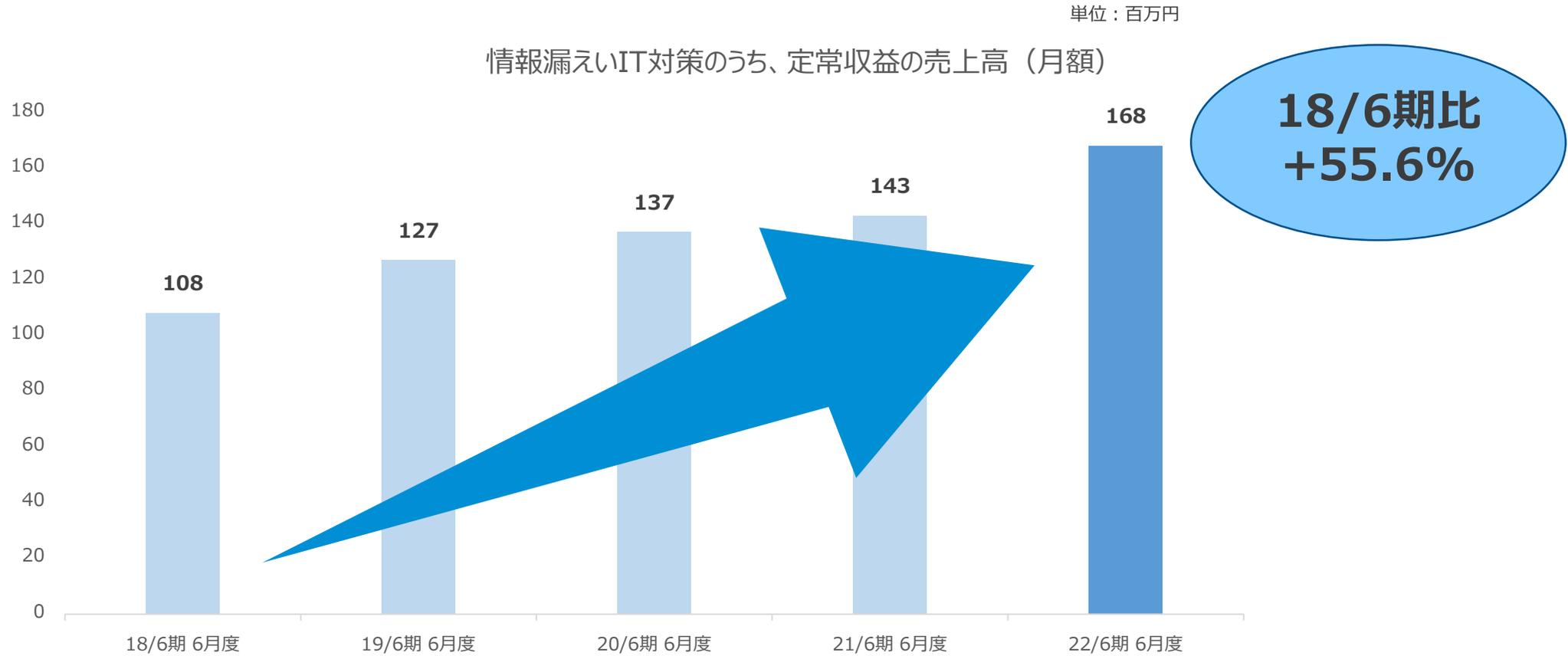
Emotetに代表されるようなランサムウェア感染への対策として、EDR導入・監視運用支援に加えて、標的型攻撃メール訓練サービスや、バックアップソリューションの導入も増加。

### デジタルフォレンジック および PFI

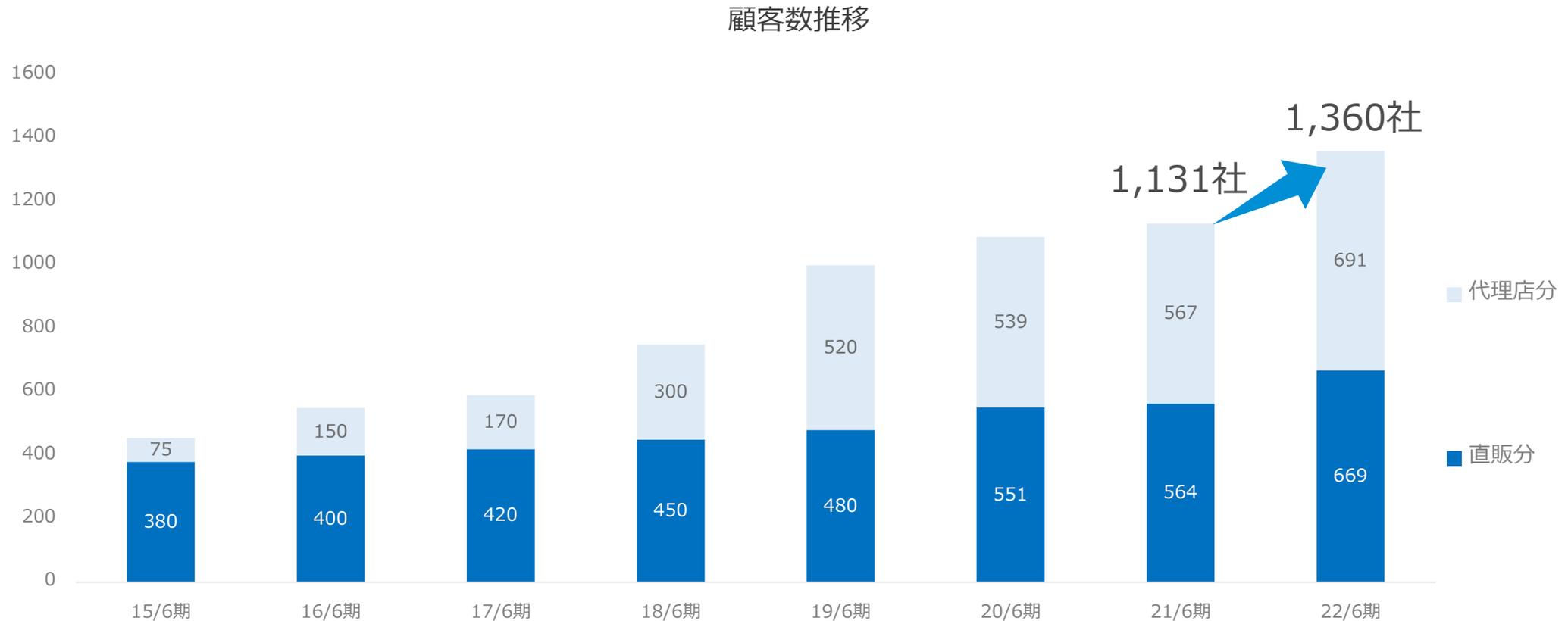
サイバー攻撃による被害調査のデジタルフォレンジックサービスやPFI（PCI Forensic Investigator）は、体制の拡充と堅調な需要の後押しを受け、昨年度に続き堅調に推移。

EDR監視運用 顧客数	デジタルフォレンジック/PFI 売上
前期比 <b>2.2倍</b>	前期比 <b>1.6倍</b>

# 情報漏えいIT対策における、定常収益の月額売上高が着実に増加 安定的な収益基盤としてさらに増加中



## 2022年6月期の顧客数は、前年度から229社増の1,360社と堅調に増加 直販・代理店とも好調に推移



## 純資産規模が拡大、有利子負債の減少により、財務基盤が安定 自己資本比率は39.3%に増加

単位：百万円

科目	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期	前期末比
流動資産	1,553	1,738	<b>2,209</b>	111.9%
うち現預金	829	945	<b>1,262</b>	114.0%
固定資産	1,148	1,046	<b>938</b>	91.1%
<b>資産合計</b>	2,702	2,785	<b>3,148</b>	103.1%
流動負債	1,171	1,236	<b>1,513</b>	105.6%
固定負債	611	550	<b>396</b>	90.1%
<b>負債合計</b>	1,782	1,787	<b>1,910</b>	100.3%
<b>純資産合計</b>	920	998	<b>1,237</b>	108.5%
(自己資本比率)	34.0%	35.8%	<b>39.3%</b>	+3.5p

## 純利益増に伴い営業活動CFが増加 自己株取得（100百万円）により、財務活動CFが減少

単位：百万円

科目	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期	前期差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	747	406	<b>752</b>	346
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 398	△ 99	△ <b>101</b>	△ 2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 225	△ 185	△ <b>327</b>	△ 141
現金及び現金同等物の増減額	122	116	<b>316</b>	200
現金及び現金同等物の期首残高	706	829	<b>945</b>	116
現金及び現金同等物の期末残高	829	945	<b>1,262</b>	316

全ての事業において、前年度増収を見込み、売上高を拡大する  
売上高営業利益率は、10%台を目指す

単位：百万円

科目	2022年6月期 通期実績	2023年6月期 通期計画	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	5,216	<b>5,800</b>	+583	+11.2%
営業利益	509	<b>580</b>	+70	+14.0%
売上高営業利益率	9.8%	<b>10.0%</b>	+0.2p	
経常利益	497	<b>571</b>	+73	+14.8%
売上高経常利益率	9.5%	<b>9.8%</b>	+0.3p	
当期純利益	352	<b>400</b>	+47	+13.5%

## アジェンダ

2022年6月期 通期業績サマリー

### トピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

## ビジョン

### 便利で安全なネットワーク社会を創造する

#### 価値

1. お客様の情報資産を守り成長を支援する
2. 顧客ニーズに真摯かつ迅速に対応する
3. 高度な専門知識とサービスをわかりやすく提供する
4. 進化する攻撃にサービスで対抗する

**ビジョンを具現化するために当社が「価値」として掲げる上記4点を2022年6月期のトピックスとあわせてご紹介します。**

## 幅広いお客様へのアプローチを目指し、業務提携や業界団体設立へ参画



### 業務提携

- ▶ 互いの強みを営業連携することでシナジーを期待
- ▶ 類似サービスにおけるリソース相互補完
- ▶ マーケティング活動の協力



**グローバルセキュリティエキスパート株式会社**  
両社の類似サービスにおけるリソース相互補完し、マーケティング活動においても協力



**株式会社アイネット**  
流通業、官公庁、eビジネス、外資系企業などDX推進に不可欠な企業のセキュリティをサポート



**株式会社アイテック**  
流通・小売、卸、ロジスティックス、食品・消費財メーカーのサプライチェーンの安全安心をサポート



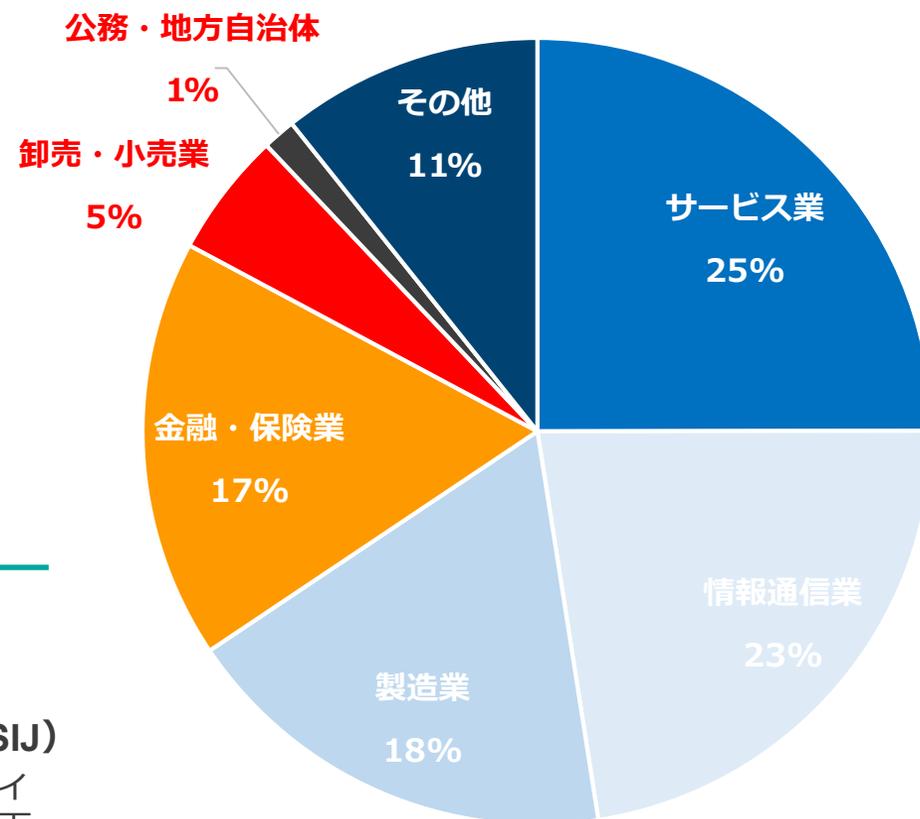
### 情報共有

- ▶ 同業他社との情報共有で社会全体のセキュリティ底上げ



**サイバーセキュリティイニシアティブジャパン (CSIJ)**  
セキュリティ・プロ集団によるサイバーセキュリティ対策水準向上支援に賛同し、初期メンバーとして参画

23/6期の売上における業種割合



## 顧客の課題やニーズは何か？

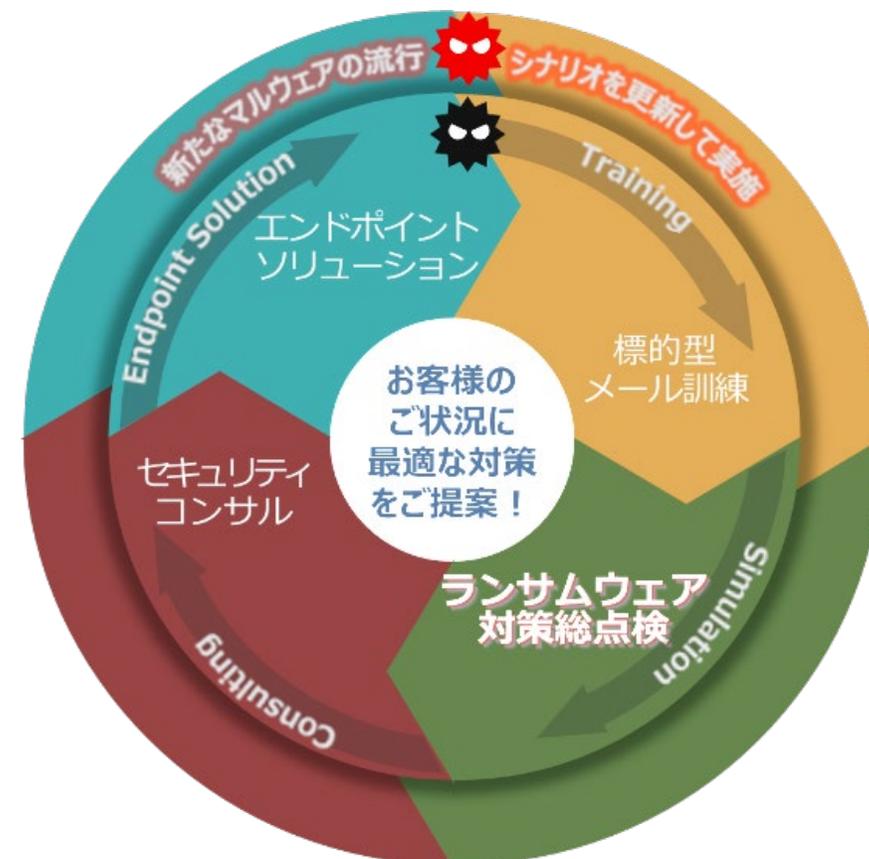
BBSecは常に考え、新しいサービスを打ち出しています

### ▶ 「ランサムウェア対策総点検」としてBBSecの既存サービスを特化したサービスパックを提供開始

- ランサムウェアリスク可視化サービス
- サブドメイン乗っ取り対策サービス
- ネットワークスキャンサービス
- デジタルフォレンジック

### ▶ 「デジタルフォレンジック事前登録」は有事の際の対応に関して、安心をご提供

### ▶ ランサムウェアに対抗する次世代バックアップソリューション「Rubrik」の取り扱い開始

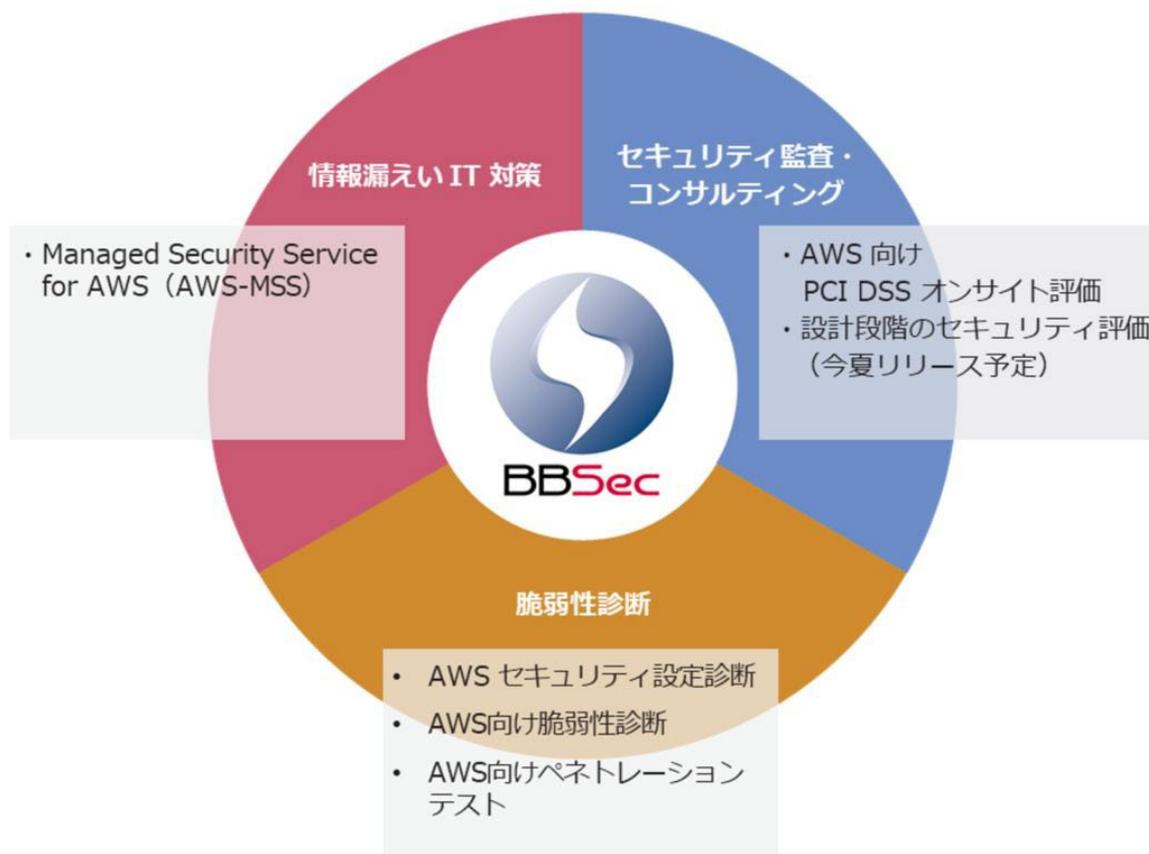


## DX時代に必要なサービスを

クラウド利用の増加など顧客ニーズの変化に合わせ、クラウドサービスの特性を考慮し、攻撃の検知・対応に加え、インシデントが発生する前の予防も支援するサービスのバリエーションを拡大



### BBSecのAWS関連サービス



### AWS セレクトティアサービスパートナーとは

AWSセレクトティアサービスパートナーとはトレーニングと認証を受けた技術者の強力なチームを抱え、AWSを活用した実績のあるパートナーであることの証明です。

AWSパートナー認定を受けることで、クラウドサービスへの移行を希望されているお客様に迅速にコンサルティングやマネージドサービスといったプロフェッショナルサービスを提供することができます。

### AWS 資格を取得した社員が123人に

資格手当の充実など、会社がバックアップし、認定技術者数も急増しました。

## 金融機関に強いBBSecとして、地銀向けにトータルセキュリティをご提供

### 地方銀行・信用金庫様における課題の整理 (弊社聞き取り結果)

- 1) 精通した専門家がたくさんいるわけではないので、**対応要員の確保**ができない。
- 2) 取引先・外部委託先まで含める必要があり、**範囲が広がる**一方で対応が追いつかない。
- 3) 攻撃の複雑化・巧妙化に伴い、高度な対策が必要となっており、**コスト負担**が非常に大きい。
- 4) **クラウド利用**は増加の一方だが、そのセキュリティ対策まで十分に手が回らない。

対応範囲拡大とコスト削減の両立が  
求められる中、専門ベンダー活用  
による工数確保が必要

- ▶ 金融・保険業界に対する様々なサイバー攻撃に対し、トータルに対応することができるベンダーフリーのサービスプロバイダーならではの強み
- ▶ これまで、のべ6,420組織、38,200を超えるシステムの脆弱性診断の実績を基にした知見



### 可視化

- ▶ 情報セキュリティアセスメント
- ▶ 自己問診型 FISCガイドライン 準拠性評価サービス
- ▶ 金融庁ガイドラインに基づく ペネトレーションテスト



### 対策

- ▶ Web サーバへのサービス妨害 攻撃対策 (DDoS 対策)
- ▶ ランサムウェア対策



### 評価

- ▶ 送金システムのシステム監査支援サービス

## 不正アクセス検知・運用監視サービスのバリエーション拡大

クラウド利用の増加など顧客ニーズの変化に合わせ、クラウドサービスの特性を考慮し、攻撃の検知・対応に加え、インシデントが発生する前の予防も支援するサービスのバリエーションを拡大

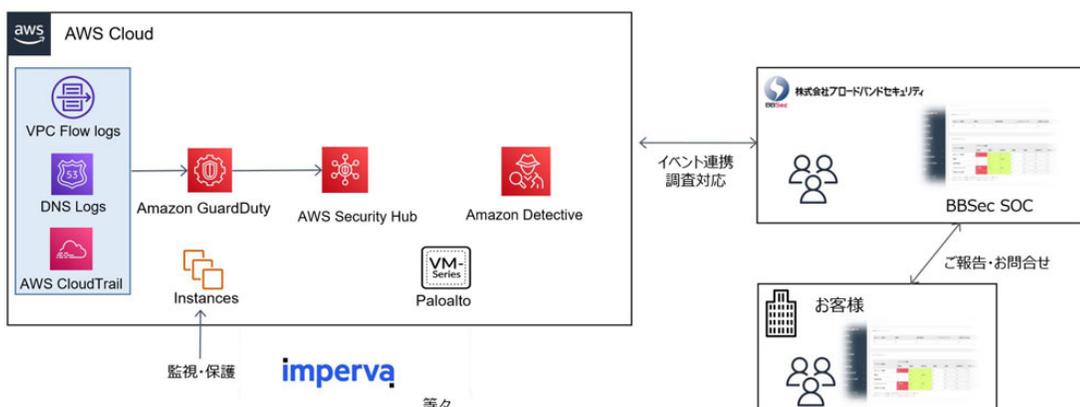
- ▶ EDR-MSS for Microsoft Defender for Endpoint
- ▶ Managed Security Service for AWS
- ▶ SASE-MSS powered by Prisma Access from Palo Alto Networks

### パロアルトネットワークス様からのメッセージ

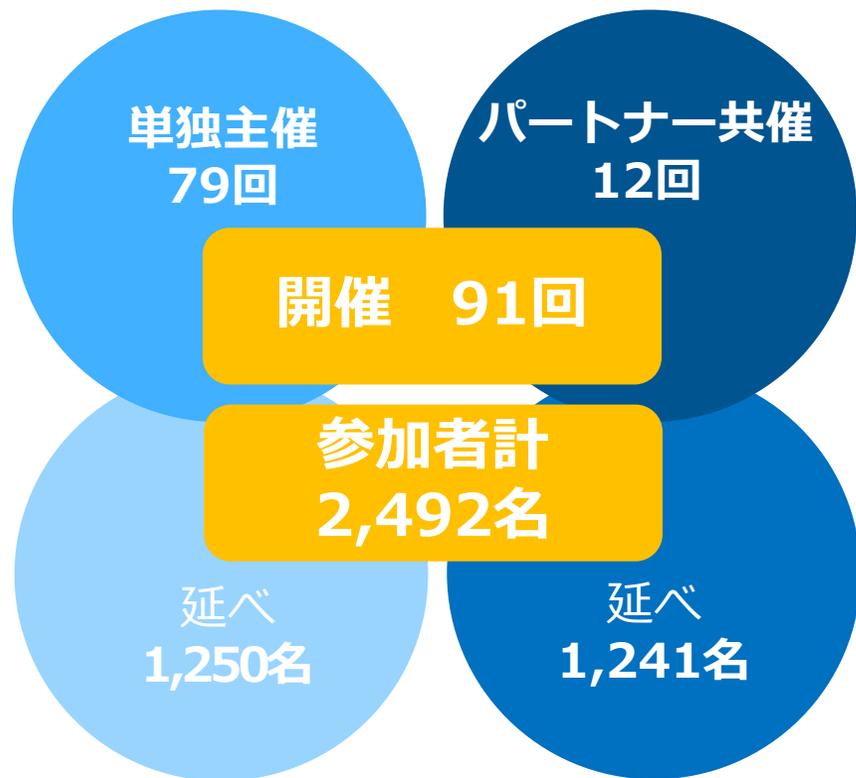
この度、BBSec様がPrisma® Accessのマネージドサービスを提供されることを大変うれしく思います。コロナ禍においてテレワークやクラウド活用が進む中、ゼロトラスト戦略を採用した新しい形のネットワーク・セキュリティが求められています。

パロアルトネットワークスのPrisma® Accessは、場所やデバイスを問わずに安全なアクセスを実現し、一貫したセキュリティを組織全体に適用できるため、afterコロナ時代を見据えた新しいワークスタイルを促進します。

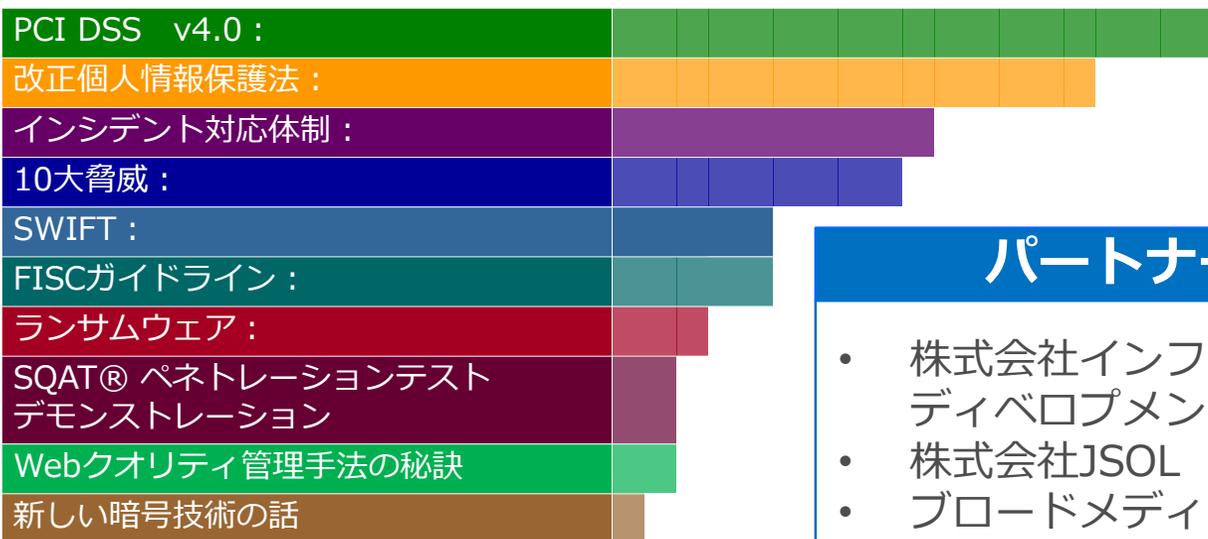
パロアルトネットワークス株式会社  
代表取締役会長兼社長 アリイ・ヒロシ



## 21/6期より本格開始したウェビナーを、22/6期も拡大実施。 タイムリーなテーマ設定による顧客満足度向上、コロナ対応ニーズを同時に実現



テーマ別の申し込みランキング TOP10



### パートナー共催

- 株式会社インフォメーション・ディベロップメント
- 株式会社JSOL
- ブロードメディア株式会社
- 株式会社ケーメックスONE
- MOXA JAPAN合同会社
- SB C&S株式会社
- ヴィエムウェア株式会社
- グローバルセキュリティエキスパート株式会社

## Webサイトランキング情報



金融・不動産・EC・IRサイトなど、30業界、4,600サイトをゴメス独自の評価基準で評価し、ランキング発表を行っています。



- ウェブサイトの使いやすさ
- 企業・経営情報の充実度
- 財務・決算情報の充実度
- 情報開示の積極性・先進性



- ESGサイトランキング：2021年9月
- ふるさと納税サイトランキング：2021年11月
- IRサイトランキング：2021年12月
- 賃貸不動産情報：2022年3月
- 売買不動産情報（スマホサイト）：2022年2月
- 賃貸不動産情報（スマホサイト）：2022年1月

顧客企業のオンラインビジネス成功に向けた調査サービスを中心に、具体的なデザイン改善・システム開発を行い、効率的なサイト運営のサポートまで、Webサイトに関する総合的なソリューションをご提供しています。

### ユーザーデータ分析

1. リモート型ユーザビリティテスト  
一般消費者の気持ちを知るためのテスト
2. マーケティング・データベース  
マネジメント判断の参考となるユーザーの心理データを蓄積・整理・グラフ化

### Webサイトの評価・開発

3. サイト評価・設計コンサル  
UI/UXメンでの課題点の抽出、改善方向性の策定、リニューアルアドバイス
4. Webサイト・アプリ開発  
顧客業界別の専門ディレクション人材によるWebサイト・アプリ開発・運用

### 効率的・安定的な運用サポート

5. Webクオリティ検証ツール  
コーディング品質、アクセシビリティ、SEO、セキュリティ等
6. パフォーマンス監視ツール  
インフラ・ネットワーク、アプリケーションの監視・管理ツール

## 2021年9月に地方創生・社会貢献・人材育成拠点である 「東北セキュリティ診断センター」を秋田市に開設

### 地方創生

「秋田から IT セキュリティを守る」をコンセプトに、地元企業様と協力しながら、ともに日本で有数の IT セキュリティ市場の構築に貢献できるオフィスとなることを目指して9月に開所。



### 人材育成

2018年から継続して下記の国公立大学にセキュリティ講座を開き講師を派遣

<実績> 国立大学法人 山梨大学 / 国立大学法人  
秋田大学 / 公立大学法人 秋田県立大学



国立大学 理工学部



インターン受け入れ  
秋田大学  
秋田県立大学



## 社内の多様性の確保や育児・介護支援等、従業員に安心して活躍できる働きがいのある職場づくりと社会の実現に努めています

### 人材育成の推進 ～社員の未来を応援する「みらい時間」を創設～

1日の勤務時間を従来の**7.5時間から6.5時間に短縮**し、1時間の学習時間を確保することで、社員のスキルアップ、資格取得をサポートしています。

また、2018年から継続して下記の国公立大学にセキュリティ講座を開き講師を派遣し、日本のセキュリティ人材教育の一旦を担うことで、社会に還元しています。

<実績> 国立大学法人 山梨大学 / 国立大学法人 秋田大学 / 公立大学法人 秋田県立大学



### ダイバーシティの推進

持続的な成長のためには、様々な経験・技能・属性などの視点や価値観が存在する必要があることを認識し、社内における外国人、女性、中途採用者等の活躍促進を含む多様性の確保を推進しています。

### 柔軟な働き方の推進

2020年よりリモートワーク・在宅勤務制度を実施。全社員にリモートワーク用の通信環境を提供しています。介護休業制度、介護休暇制度、介護時間（短時間勤務）制度については法定以上の制度を導入し、男女の別なく育児・介護等と業務の両立を支援しています。



#### ➤ 女性活躍推進

女性管理職の割合は業界平均の約2倍。

(2021年) 【女性管理職割合】16.3% (産業平均値\*8.2%)

※「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画等に関する省令第8条 第1項第1号イ(4)に定める「産業ごとの管理職に占める女性労働者の割合の平均値」 <https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/000797132.pdf>

## アジェンダ

2022年6月期 通期業績サマリー

トピックスのご紹介

**株式会社ブロードバンドセキュリティについて**



## 当社が多くのお客様から選ばれるのには、理由があります

### 豊富な実績



これまでに延べ42,100システム超  
の脆弱性診断実績

(2022年1月現在)

### 高品質・技術対応力



国内最多規模の資格保有者の知識・  
経験を核とした最先端の技術対応力

### 中立性・信頼性



最適な改善策を提示するために  
欠かせないベンダーニュートラル性

### ユーザーオリエンテッド



お客様個別のニーズやスピードに  
お応えする柔軟な体制

PCI DSS  
基準認定付与件数  
**581件**  
(2022年5月現在)

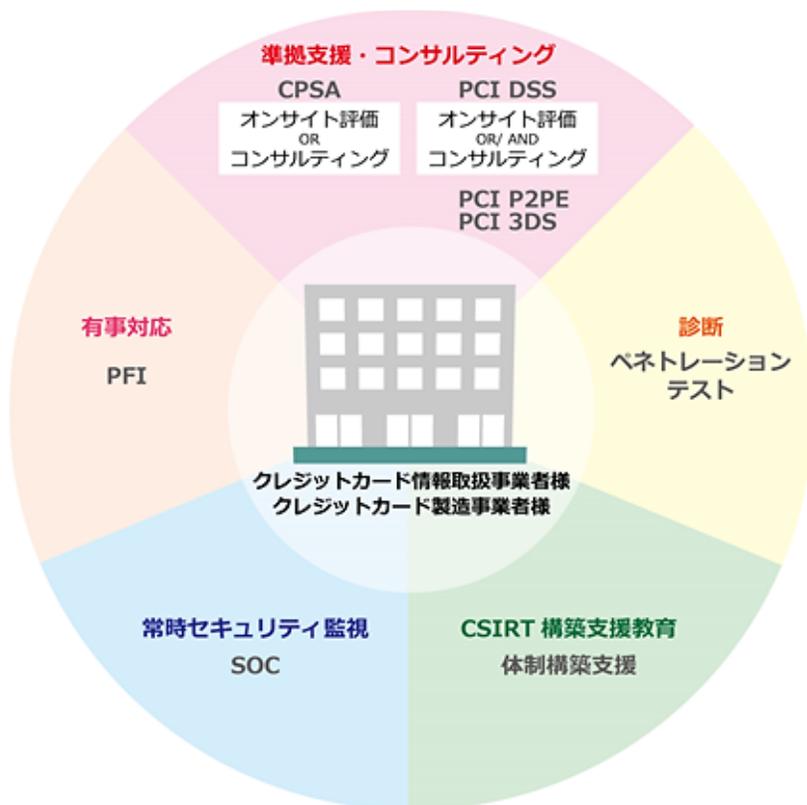
PCI DSS  
基準認定付与企業数  
**130社**  
(2022年5月現在)

PCI関連資格取得者数  
<QSA、CISSP等>  
**88名**  
(2022年5月現在)

SWIFT  
評価企業数  
**23件**  
(2022年5月現在)

AWS認定資格  
取得数  
**123名**  
(2022年5月現在)

# クレジットカードの国際的セキュリティ基準PCI DSS関連の資格者を多数有する企業として、豊富な知見でお客様のセキュリティ対策をご支援



プログラム	サービス市場・対応言語
PCI DSS	市場：ヨーロッパ、北米、アジア太平洋地域 言語：日、英、韓、タイ語
PCI P2PE	市場：アジア太平洋地域 言語：日、英、韓、タイ語
PCI 3DS	市場：ヨーロッパ、北米、アジア太平洋地域 言語：日、英、韓、タイ語
PFI	市場：アジア太平洋地域 言語：日、英、韓、
CPSA	市場：アジア太平洋地域 言語：日、英、韓、タイ語

PCI関連資格取得者数 (QSA, CISSP等含む)  
(2022年5月現在)

**88**名

# セキュリティの公的資格者多数在籍し、多角的にお客様の対策をご支援



## 国家資格

高度な技術・技能を有する情報処理技術者に与えられる国家資格で、高度IT人材である証明となります。

- ITストラテジスト(ST) ● システムアーキテクト(SA) ● ネットワークスペシャリスト(NW) ● データベーススペシャリスト(DB)
- システム監査技術者(AU) ● 情報処理安全確保支援士(SC)



合計  
27名



## ベンダー資格

ネットワーク機器・セキュリティ製品などを提供する事業者が、その製品・サービスに精通する人材であることを証明する資格で、当該製品・サービスに関するセキュリティサービスを展開するうえで欠かせない資格です。



合計  
262名

CISCO	シスコ技術者認定資格 プロフェッショナル
LPI	Linux技術者認定試験(LPIC-3)
ITIL Foundation	Information Technology Infrastructure Library(ITIL)
AWS	AWS Certified Security - Specialty(AWS SCS) AWS Certified Advanced Networking - Specialty(AWS ANS) AWS Certified Database - Specialty(AWS DBS) AWS Certified Solutions Architect - Professional(AWS SAP) AWS Certified DevOps Engineer - Professional(AWS DOP) AWS Certified Solutions Architect Associate(AWS SAA) AWS Certified SysOps Administrator - Associate(AWS SOA) AWS Certified Developer - Associate(AWS DVA) AWS Certified Cloud Practitioner (AWSクラウドプラクティショナー) (AWS CLF)
Palo Alto	Palo Alto PSE Platform-Professionals Palo Alto Networks Certified Network Security Engineer(PCNSE) Palo Alto AMPLIFY Security Fundamentals
Vmware	VMware Sales Professional VMware Technical Solutions Professional(VTSP) VMware Endpoint Protection Post-Sales Accreditation



ESET	ESET認定技術者
Splunk	Splunk Core Certified Power User Splunk Accredited Sales Rep I Splunk Accredited Sales Engineer I Splunk Enterprise Certified Admin
Microsoft	Azure Fundamentals
GSX	グローバルセキュリティエキスパート セキュリスト (SecuriST) 認定脆弱性診断士 WEB グローバルセキュリティエキスパート セキュリスト (SecuriST) 認定脆弱性診断士 NW
PCI SSC	QSA P2PEQSA CPSA物理 CPSA論理 3DS Assessor PCI Forensic investigator(PFI)
ISAC2	CISSP
ISACA	CISA CISM
PMI	PMP
SANS	GCFA GNFA GREM GCFE GCIH GPEN
EC-Council	CEH

### 会社名

株式会社ブロードバンドセキュリティ (略称：BBSec)  
BroadBand Security, Inc.

### 本社所在地

東京都新宿区西新宿8-5-1 野村不動産西新宿共同ビル4F (〒160-0023)

### URL

<https://www.bbsec.co.jp/>

### 設立

2000年11月30日

### 資本金

292百万円

### 決算期

6月

### 株式公開情報

市場：東京証券取引所 スタンダード市場  
上場日：2018年9月26日  
株式コード：4398

### 従業員数

222名 (2022年6月末現在)

### 代表者

代表取締役社長 滝澤 貴志  
代表取締役副社長 森澤 正人

### 事業内容

1. セキュリティ監査・コンサルティングサービス
2. 脆弱性診断サービス
3. 情報漏えい・IT対策サービス

### 事業所

国内：天王洲オフィス、大阪支店、名古屋支店、東北セキュリティ診断センター  
海外：韓国支店  
オペレーションセンター：1 拠点 (東京都内)

(2022年6月末現在)

## 2000年 会社設立

### 国内ブロードバンド網の相互接続インフラを提供すべく会社を設立

- 2000年11月 会社設立（社名：(株)ブロードバンドエクステンジ)
- 2004年10月 合併によりネットワーク監視事業を追加
- 2004年10月 大阪支店設立

## 2005年 セキュリティサービス開始

### 初のセキュリティサービス「セキュアメールASPサービス」を開始

- 2005年 8月 「セキュアメール ASPサービス」を提供開始
- 2006年 5月 (株)ブロードバンドセキュリティに社名変更
- 2006年10月 「ソースコード診断」を提供開始
- 2007年 1月 「SQAT情報システム品質分析」を提供開始
- 2008年 5月 PCI DSSの認定審査機関「QSAC」認定取得

## 2009年 セキュリティ専業へ

### サービスを再整理し、セキュリティ事業に特化

- 2009年 1月 「デイリー脆弱性診断」を提供開始
- 2009年 2月 BEXサービスを事業譲渡
- 2009年 4月 セキュリティオペレーションセンター開設
- 2009年 4月 「PCI DSS準拠支援」を提供開始

## 2012年 グローバル展開開始

### 国内企業の海外展開支援をするために、初の海外支店オープン

- 2012年 3月 韓国営業所（現韓国支店）設立
- 2013年 3月 デジタルフォレンジック事業開始
- 2013年10月 「モダンマルウェア検知」を提供開始
- 2015年 5月 「PCI DSS準拠支援」のグローバル対応を本格化

## 2016年 統合サービス開始

### サービス提供範囲をITのみから組織全体へと拡大

- 2016年 5月 「PCI DSSオンサイト評価」を欧米に拡大
- 2016年 8月 PCI DSSのP2PE認定審査機関を取得
- 2017年 5月 「インターネット分離」を提供開始
- 2017年10月 「パブリッククラウド向けセキュリティ診断」を提供開始

## 2018年 株式公開

### お客様の基幹に触れる事業者としての責任を果たすべく、株式公開

- 2018年 9月 東京証券取引所JASDAQスタンダード市場への新規上場
- 2019年 1月 「エンドポイントセキュリティ運用支援」を提供開始
- 2019年 5月 「重要インフラ/産業用制御システム向けセキュリティリスクアセスメント」を提供開始

## 2020年 新たな社会ニーズへの対応

### リモートワークなど新たな社会ニーズに求められるセキュリティサービスを積極展開

- 2020年 4月 「テレワーク支援セキュリティ診断」を強化
- 2020年 8月 「テレワーク環境 情報リスクアセスメント」を提供開始
- 2020年 8月 「クラウドセキュリティ設定診断サービス」を提供開始
- 2020年 9月 「国際送金ネットワーク SWIFT 評価・コンサルティング」の提供を開始

## 2021年 サービス領域拡大

### PFI、CPSA登録によるサービス領域拡大とゴメス・コンサルティング事業の承継

- 2021年 3月 「ゼロトラストコンサルティングサービス」を提供開始
- 2021年 4月 カード情報漏えい事故調査機関 PFI登録
- 2021年 5月 クレジットカード製造におけるセキュリティ評価機関 CPSA登録
- 2021年 7月 モーニングスター株式会社よりゴメス・コンサルティング事業承継
- 2021年 9月 東北セキュリティ診断センター開所
- 2022年 4月 東京証券取引所の市場再編により「スタンダード市場」に移行

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、業界並びに市場の状況、金利、為替変動といった国内、国際的な経済状況の変動により異なる結果を招く不確実性を含みます。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

また、当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

株式会社ブロードバンドセキュリティ  
お問い合わせ [ir@bbsec.co.jp](mailto:ir@bbsec.co.jp)  
<https://www.bbsec.co.jp/ir/>

※本資料の社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。



**BBSec**  
BroadBand Security, Inc.